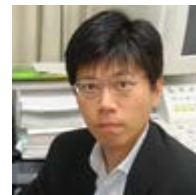




## 実は身近な病気・認知症とは？

### ～その本質と対応④～



医療法人社団 秀皓会 理事長 船本 全信

毎日夏のような日差しが降り注いでおりますが、皆さん体調崩されていませんか？今回は、認知症シリーズの最終回で、認知症のトピックについてお話しします。

皆さんは「コウノメソッド」についてご存知でしょうか？「名古屋フォレストクリニック」院長の河野和彦先生が提唱する認知症の治療マニュアルです。非常にユニークな点は、下記のような一件乱暴に思える治療ですが、「患者と家族」の事を一番に考えている治療法だと思います。

- \* 診断は正確でなくてもよい。治すことだけを考える。
- \* 日本のために無駄な検査、意味のない専門医への依頼は控える。
- \* 医師と薬を信頼してはならない。薬が合わないと思ったら減らしたりやめたりすべし。  
(ただし、精神科の薬で中断すると危険な場合があるので注意。医師に相談を。)
- \* 医師を育てるのは、患者や家族である。「謙虚な」医師を選べば、道は開ける。

コウノメソッドは、徘徊や怒りっぽい・暴行／暴言が顕著な認知症でも「家庭介護が続けられる」ことを主眼として「一般公開（インターネット）」された薬物療法マニュアルです。そのコンセプトは、下記の通りです。

- ①薬の副作用を出さないために「介護者が」薬を加減すること（家庭天秤法）、
- ②患者と介護者の一方しか救えないときは「介護者を」救うこと（介護者保護主義）
- ③サプリメントの活用

ただ、①については薬を服用することで「却って悪化」した場合に、「介護者が患者のために」減量・中断してもOKと言うことですが、「医師に報告」は忘れないでください。②ですが、介護でのトラブル（介護者の介護疲れ・うつ病等）が増えてきている昨今、患者の施設入所や精神病院入院等の対応を図る必要があります。③については「フェルガード」と「プロルベインDR」「エキストラバージンココナツオイル」の3種類があります（当院で販売しております）。

【フェルガード】米ぬか成分のフェルラ酸とセイヨウトウキないしバコパモニエラが配合されたサプリメントで認知症、嚥下機能、歩行機能、脂質・血圧・HbA1cなどの改善作用があり多くの学会発表がされている。

【プロルベインDR】ルンブルクスルベルス（赤ミミズ）の消化酵素などを主成分とした動脈硬化改善サプリメント。動脈内腔のプラークは2ヶ月で退縮傾向を示したと言う報告があり、また血圧低下や末梢循環も改善効果があります。河野医師も自ら内服しています。

【COCOWELLエキストラバージンココナツオイル】料理などに入れるが、冬は白く固まっています。夏は透明の液体。コーヒーに入れても良いが表層に油が浮いて見えます。認知症患者がかなり改善する場合があります家族も常用してよい。効能は医師が認めており、多くの本も出ています。

治療において最も気を付けるべきは、認知症は中核症状（いわゆる物忘れ）と周辺症状（徘徊・幻覚・暴行・易怒性・妄想等）から構成されており、周辺症状には陽性症状（興奮系：イライラ・ブツブツ・うろうろ）と陰性症状（抑制系：ボーっと・うとうと・嚥下不能・失語）があります。介護者が一番困っているのは陽性症状であって、中核症状ではありません。周辺症状は、中核症状から派生するものですが、中核症状を治せば周辺症状も自動的に改善すると思っははいけません。結局のところ、患者の病態を把握し今何が必要かを考えて、必要最低限の薬で最大効果を得られるように、「医療・介護・患者とその家族」がしっかりと情報交換しながら対応していくしかありません。

これからは高齢化の時代で、ますます認知症患者が増えていくと思われます。医療法人秀皓会の医療・介護部門は、いつでも手を差し伸べられるよう準備をしておきたいと思っております。

## 【ふなもとクリニック エコー検査・食事相談予定】

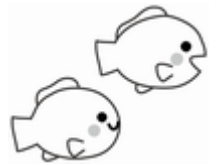
### 6月の予定

エコー検査	井上先生	13(土)・25(木)・27(土, 午前のみ)
	山本先生	20(土)
	杉山先生	5(金)・12(金)・19(金)・26(金)
	池田先生	9(火)・23(火)
	食事相談	宮本管理栄養士



### 7月の予定

エコー検査	井上先生	11(土)・18(土, 午前のみ)・23(木)・30(木)
	山本先生	—
	杉山先生	3(金)・10(金)・17(金)・24(金)・31(金)
	池田先生	14(火)・28(火)
	食事相談	宮本管理栄養士



## ～寿命について徒然なる雑感～

日本人の寿命は年々伸びており、女性の平均寿命は86歳、男性のそれは80歳に達したことを厚生労働省が既に発表しており、皆様も御存じだと思います。平均寿命が伸びたことについて、その理由の検証が色々となされており、興味深く読ませていただいております。

人間は、いつの世も、常に、なにかと争ってきました。元々は個の生存のため、それから家族等自分の親近者のため、果ては属する集団(チーム、会社、国家)のために。比較的新しい記憶としては、太平洋戦争が挙げられます。まさに「日本」と言う国家のために、特に若い世代の方を含めて、多くの方々が、争いという戦争行為の中で、亡くなられました。この戦争行為がなければ、寿命を延ばせた方が何十万、いや何百万も居られたことは明らかです。

人間の争いの相手は、人間だけには留まりません。個の生存のために、目に見えない相手と、進化の当初から、争ってきたのです。その相手とは、細菌やウイルスという微生物です。これらが原因の感染症という病気も、近現代に到っては薬(抗生剤や抗ウイルス薬)の開発等で、克服できるものが増えてきました。これまでは、感染症で簡単に命を落とされていた(寿命が短縮された)方が、寿命を延ばせるようになったことも明らかです。

今我が国は、戦争と言う争いとは縁のない平和国家となり(国会では色々議論されていますが…)、国民皆保険制度という他国には類を見ない医療制度で、健康管理・疾病治療が行える健康国家となりました。そのこともあって、確かに平均寿命は延び、世界で一番の長寿国家となりました。人類史上これほど長寿を達成できた国家は存在し得なかったもので、ある意味快挙であり、さすが日本と言ったところですが…。

さて、職業柄患者様を診察したり、往診に行ったりと日常業務を淡々とこなしているうちに気付いてきたことがいくつかあります。

- ①確かに御高齢者は多い、それも独居の方が非常に多い。近所に血縁者居られる場合もあれば、全く居られないケースも多い。
- ②独居でなくても、老々夫婦だけという御家庭も多い。この場合も、近所に血縁者居られる場合もあれば、全く居られないケースも多い。
- ③あちらこちらに、空き家空き室が増えてきた。
- ④認知症患者の方が増えてきた(それでも独居の方居ます)。
- ⑤体力に問題のある御高齢者多い。

この傾向は、西宮だけではなく、日本の都市部によく見られるようになってきており、所謂「都市の過疎化」と言えます。これらの現象は、平均寿命こそ延びていますが、元気でいられる平均健康寿命は、全く変わっていないため、ひずみが生じて起こり得てきたのではないのでしょうか？

今後この傾向は更に増大傾向にあるようなので、いかに元気に年齢を重ねていくか、そのためには加齢変化である動脈硬化、骨密度低下や代謝の低下にどのように対応していけばいいのか？常に考えている毎日です。

ふじもとクリニック 院長 藤本哲雄

- ◆ふなもとクリニック 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町7-13 tel.0798-81-1192
- ◆ふじもとクリニック 〒663-8165 西宮市久保町7-35 レインボー酒蔵通1F tel.0798-42-7692
- ◆居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション **ふくろう** 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町6-20
- ◆訪問介護ステーション・デイサービスセンター tel.0798-40-9050(代表) 0798-49-7670(デイ直通)